

2025 年度春期

ワイカト大学語学研修 報告書 (7 名分)

3 週間コース：2026 年 2 月 20 日～2025 年 3 月 15 日

5 週間コース：2026 年 2 月 20 日～2025 年 3 月 29 日

ワイカト大学春期語学研修 2026 報告書

報告日： 2026 年 3 月 19 日

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学春期英語研修
研修期間	3 週間コース：2026 年 2 月 20 日～2026 年 3 月 15 日

1. 留学前の準備について（応募動機，申込み手続き，語学対策など）

海外の生活を体験してみたかった。

2. 研修内容や大学（授業内容，形態，学生同士の交流，アクティビティ等）

午前は主に教科書の内容や宿題を中心としたグループ活動

午後はクラス全員でスポーツをしたり、現地学生にインタビューするなどの活動が多かった。

3. 生活（住環境，食生活や健康管理，危機管理，持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	キリスト教の家庭で食事の際のマナーが特徴的だと思った。長男と長女と様々な遊びをして交流できたことがよかった。休日はホストファミリーが様々な場所へ連れて行ってくれたおかげで全く退屈しなかった。なるべく対面で会話することを心がけたのでチャットアプリはほとんど使っていない。
食事，健康管理	ホストファミリーの生活に合わせた。特に早寝は意識した。食事はホストファミリーが一日三食作ってくれたので特に問題はなかった
持参してよかったもの （理由）	日焼け止め 日差しがものすごく強いから。
危機管理 （危険な目に遭わないために気をつけていたこと，少しでも危険を感じたことなど）	暗くなってからは外を出歩かない。 極まれにホームレスに遭遇するが話しかけられても対応しない。

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ，おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	300,000 円	
海外旅行保険	10,000 円	
研修費用	450,000 円 0 円	入学登録料, 授業料, ホームステイ, 空港送迎料, 大学学生保険等を含む。
滞在費	0 円	ホームステイ
食費	40,000 円	
交通費	10,000 円	
その他 (小遣い, 通信費など)	100,000 円	
合計		910,000 円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

(写真を添付して, その様子の説明をご記入ください *ここに貼り付けなくても OK です)

ホストファミリーとラグビーの試合を見に行ったこと。

ツアーで同じ大学の子とワイトモ観光をしたこと。

現地学生と交流できたこと。

食べたことのない食べ物に手あたり次第にチャレンジしたこと。

機内食が口に合わず体調が悪くなったこと。

バスで隣になったおじいさんと必死で考えながら英語で会話したこと。

★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

ホストファミリーと仲良くなって楽しい留学生活を送ってください。

ワイカト大学春期語学研修 2026 報告書

報告日：2026 年 4 月 3 日

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学春期英語研修
研修期間	5 週間コース：2026 年 2 月 20 日～2026 年 3 月 29 日

1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）

応募動機：海外に行くことに興味があったから。

2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）

授業は教科書中心というよりもポスターを作ったり、学校内の人にインタビューに行ったりなどのアクティビティが多かった。あとはマオリ語もすこしだけした。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	マレーシア出身のホストファザー 1 人だった。 ご飯は東南アジア系の辛めの料理で、昼食は夜の残りをタッパーに入れて持っていった。他のホストファミリーと比べると比較的 自由な感じで、お風呂の時間やご飯の時間も決められていなかった。
食事、健康管理	東南アジア系のご飯。日本人の口には合いそう。 クラスで毎日お菓子をシェアしたりするのに加えて、ハミルトン市内で買える食べ物がジャンクフードっぽいものが多いので、健康的な食事ではなかった。
持参してよかったもの （理由）	シャンプー類 家にボディソープ以外がなかった。
危機管理 （危険な目に遭わないために気をつけていたこと、少しでも危険を感じたことなど）	バスが遅くまで走っていないため、夜遅いときは歩ける距離でも一応タクシーを使ったほうがいいと思う。

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	210,000 円	

海外旅行保険	10,000 円	
研修費用	570,000 円 0 円	入学登録料, 授業料, ホームステイ, 空港送迎料, 大学学生保険等を含む。
滞在費	0 円	ホームステイ
食費	20,000 円	外食, お菓子
交通費	10,000 円	ハミルトン市内の移動
その他 (小遣い, 通信費など)	200,000 円	観光
合計		1,020,000 円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

(写真を添付して, その様子の説明をご記入ください *ここに貼り付けなくても OK です)

スポーツを通じて, 外国人と交流することができた。

★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

単語やフレーズを勉強してから行こう！

ワイカト大学春期語学研修 2026 報告書

報告日：2026年2月7日

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学春期英語研修
研修期間	3週間コース：2026年2月20日～2026年3月15日

1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）

自分の英語力を伸ばしたいという気持ちから研修に申し込みました。もともと以前から留学には興味をもっていて、友達にこのワイカト大学での春季語学研修があることを教えてもらい、一緒に申し込みました。

2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）

月曜から金曜までは学校の授業があり、月～木は9時から15時、金は9時から12時で学校に行っていました。自分がいたクラスでは、午前中は教科書に沿った授業や先生が作成したプリント、余った時間に kahoot というサイトのクイズなどをしていました。午後からは、教室外にでて現地の学生にプリントにそってインタビューを行ったり、図書館にいて薄めの本を読み、要約をするなどの教室外での活動が多かったです。また、週に1回午後の時間にみんなで外でフリスビーやサッカーなどのスポーツや教室内で UNO や MONOPORY というボードゲームを行う日もあり、クラスの子との仲を深められました。さらに授業内では頻りにグループディスカッションやペアでのスピーキングがありました。その際に間違いがあれば先生が指摘してくれるので正しい表現、発音など新たな学びは多くありました。クラスには様々な大学から学生が来ていて卒業していく時期もバラバラです。1週間ごとに増えたり、減ったりとクラスの人が変わっていました。新しい人も入らず、多くの人が研修終了で最後の1週間では自分のクラスには6人しかいなかったため、同じレベルの違うクラスと合同になりました。また、自分は一度もなかったのですが、他のクラスでは先生が変わる場合もありました。

学校には売店やカフェ、古着屋、ジムなど様々な施設があり、充実していました。ジムは1週間無料で使うことができました。施設以外にも毎週木曜の放課後には English club という現地の学生と交流できる機会や、毎週金曜の午後からは sports day で事務や体育館を無料で自由に使える日もありました。さらにちょうど自分たちの行った時期が大学の新学期間だったので、2週間ほどは大学がすごく賑やかで盛り上がっていました。そこではホットドッグやポテトが無料で配布されていたり、カラー材のようなものを掛け合うイベントのようなものが行われていたりなど毎日なにかしら行われていて面白かったです。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

	お母さんと娘の二人暮らしの家庭で過ごさせてもらいました。自分
--	--------------------------------

<p>ホストファミリーについて</p>	<p>以外にももう一人日本人の留学生が1週間前からいました。自分のホストファミリーは優しく、穏やかでとてもいい人たちでした。家には犬も1匹いて人懐っこくてとてもかわいかったです。時々仕事で夜どっちかがいなかったり、どっちもない日もありましたが、基本的にはみんなで映画やドラマを見ながら夜ご飯を食べていました。土日にはスーパーや海に連れて行ってくれたり、思い出作りもさせてくれました。さらに自分が友達と休日にオークランドに行きたいと話したら、オークランドまでの行き方の手段や調べ方を丁寧に教えてくれました。出かけるときに朝早かったり、帰りが遅くなったりするときに送り迎えをしてくれたり、バスを乗り間違えてしまったり道に迷ってしまったときも迎えに来てくれたりと本当に親切でした。</p> <p>家ではファミリーもそれぞれ自室で過ごしていることが多かったため、一人の時間も作れました。なるべくリビングにいないといけないなどのことはなかったのでそこは気が楽でした。ドアを開けていると犬が部屋に入ってきてくれたりして可愛くて癒されていました。</p>
<p>食事, 健康管理</p>	<p>朝は自分たちで好きに食べてという感じだったのでパンや、ヨーグルトを食べていました。</p> <p>お昼はランチボックスを持たせてくれていました。サンドイッチや前日の夜ご飯の残りや、アレンジなど様々でした。それと果物（リンゴ、バナナ、桃など）を1つに小さめの袋のスナックやホストマザーが作ってくれたお菓子などが入っていました。</p> <p>夜はホストマザーが作ってくれていました。チキンやカレーなどどれもおいしかったです。ホストファミリーが仕事でいない日は作って置いておいてくれていました。夜ご飯のあとはホストマザーが作ってくれたデザートや、アイスを食べていました。</p> <p>外食はそこまで頻繁にはしていませんでしたが、金曜は午前で終わるので友達とお昼ご飯、夜ご飯を食べにいたりしていました。また、他の平日でも学校終わりにアイスはよく食べに行っていました。</p> <p>健康管理に関しては、学校にあるジムの1週間無料トライアルを申し込んだりはしました。それ以外は特に意識していませんでした。</p>

	が、ホームステイ先の家の周りは空気がとてもきれいで自然豊かだったので、ルームメイトの子と頻りに散歩にっていました。
持参してよかったもの (理由)	<p>パーカーなどの羽織れるものは持って行ってよかったです。朝晩は意外と冷え込んでいて、半袖だと寒かったですが、昼間は日差しがとても強く暑いので調整でき上着はあったらとても便利でした。</p> <p>また、水筒やボトルも持っていくと便利だなと思います。水がの本に比べると高く、学校だとペットボトル1本400円以上するし、学校には水を入れられるウォーターサーバーもあったので水筒があるといいかなと感じました。</p>
危機管理 (危険な目に遭わないために気を付けていたこと、少しでも危険を感じたことなど)	時々町で怪しそうな人が声をかけてくることがありました。

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	約20万円	
海外旅行保険	約1万円	
研修費用	約46万円	入学登録料、授業料、ホームステイ、空港送迎料、大学学生保険等を含む。 入国申請なども込み
滞在費	約2万円	帰りの経由地での宿泊代
食費	約3万円	
交通費	約1.5万円	通学のバス、土日の外出でかかったもの
その他（小遣い、通信費など）	約5万円	
合計		約78.5万円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

（写真を添付して、その様子の説明をご記入ください *ここに貼り付けなくてもOKです）



学校で申し込んだツアーで訪れた場所です。他にも洞窟やキウイハウスなどに行きました



ホストファミリーが海に連れていってくれて海が見えるところでフィッシュアンドチップスを食べました
他にもたくさん思い出ができました！充実した3週間でした！

★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

最初はホストファミリーや現地の人とのコミュニケーションがうまくとれるか不安でしたが行ってみたら思っていたよりもなんとかなります！意外と3週間は短いので自分のやりたいことや行きたいところは土日だけでなく学校終わりなども使うといいと思います。ニュージーランドは自然豊かで人も良くてとてもいいところでした。3週間か5週間いたら環境でもなんでも慣れてくるのでとっても楽しめると思います

ワイカト大学春期語学研修 2026 報告書

報告日：2026年3月31日

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学春期英語研修
研修期間	5週間コース：2026年2月20日～2026年3月29日

1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）
教育学部の英語教育コースに所属していて、教育実習前に英語を主言語とする国で会話の練習をしたかったため。語学対策はしていない。
2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）
授業は4つのレベルに分けられていた。クラスのレベルに寄って授業内容が大きく異なると感じた。大学から申し込むアクティビティについては事前に良く調べる、行った人に話を聞く、などして検討した方が良い。値段の割に面白くないものもある。
3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	ホストファミリー、マザー、ブラザー（16歳）、ブラザー（13歳）、シスター（8歳）、猫1匹の家族でした。留学前にメールでルールや持参すべきものについて3回ほどやり取りをしました。メールではシャワーは5分以内、夕飯がいない場合は前日の14時までに伝えておく、などかなり細かいルールを伝えられ不安を感じていました。しかし実際はシャワーの時間は気にしなくてよいと言われ、夕飯もいない場合は分かった時点で伝えれば良いと言われました。食生活はかなり偏っていました。
食事、健康管理	朝食は毎日シリアルでした。昼食はお弁当を持たせてくれますが、毎日ヌテラが挟まったサンドイッチ1枚とポテチとグミ、ティムタムという組み合わせでした。5週間毎日同じメニューだったのでかなり飽きました。夜ごはんはホットドッグやペンネなどが多かったです。栄養バランスは考えられていないと思います。野菜はほとんど出ませんでした。出ても量がとても少なかったです。健康管理については毎日ビタミンのサプリと整腸剤を飲む、アルコール消毒をする、という2つを行っていました。しかし寒暖差が大きかったので2回ほど軽く風邪をひきました。持参していた薬で対処しました。
持参してよかったもの（理由）	持参してよかったものはサプリ、薬類です。日本での生活に比べ栄養バランスがとても悪い食生活だったので毎日ビタミン類をサプリメントで補っていました。また私は体調を崩しやすいので風邪薬を効能別複数個持って言ったのですが結果全種類使ったので風邪をひきやすい人は持っていくといいと思います。室内用サンダル、家の中でも靴を履いているため楽な靴がある方がいいです。喉ぬるマスク、機内はとても乾燥しているのでこのマスクがあるのとのが痛くならず済みます。のど飴、NZは日本より空気が乾燥しているのどが痛くなりやすかったため。日傘、フードを被るとかなり印象が悪くなるため日傘で日よけをしていた。 持参すべきだったと感じたもの 酔い止め、がたがたな道が多く、運転も荒い人が多いため、日本

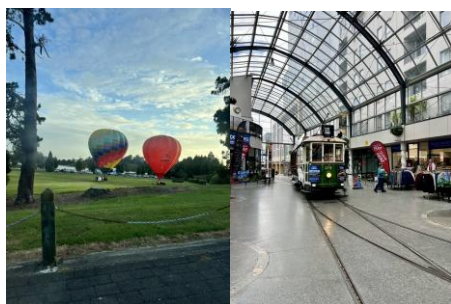
	では車酔いをしないがかなりひどい車酔いをしたため。 長袖、思っていた以上に寒暖差が大きかった。夏だが、寒い日も多かった。 生地の高い上着、朝夜はとても寒いため。
危機管理 (危険な目に遭わないために気をつけていたこと、少しでも危険を感じたことなど)	危機管理は暗くなる前に帰るようにしていました。 また町の方に出かけるとドラッグ中毒の人をたびたび見かけました。一度 Fuck you と叫ばれました。目を合わせなければ大丈夫です。

研修費用および金銭管理について (さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください)

項目	金額	備考
航空運賃	216360 円	
海外旅行保険	14881 円	
研修費用	576126 円 0 円	入学登録料, 授業料, ホームステイ, 空港送迎料, 大学学生保険等を含む。
滞在費	0 円	ホームステイ
食費	44114 円	
交通費	9058 円	バス(家から大学 5 週間分)
その他 (小遣い, 通信費など)	137041 円	Esim 10360(NZ8870 韓国 1490)お土産観光 (95481) 現金 2 万円分 NZ 入国申請 11200
合計		997580 円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

(写真を添付して, その様子の説明をご記入ください *ここに貼り付けなくても OK です)



ハミルトン市内ではバルーンが公園から定期的に飛ばされます。登校中にその光景を見ることができ、とても綺麗で感動しました。思い出は5週間組で南の島にあるクライストチャーチまで行ったことです。飛行機で行くため少々コストはかかりますがとてもおすすめです。

★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

ニュージーランドはとても自然豊かな国で一言ではできない経験がたくさんできます。ホームステイを通して言語だけでなく文化を学んだり自律性を身に着けたりすることができました。とてもおススメです。

ワイカト大学春期語学研修 2026 報告書

報告日：2026年3月31日

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学春期英語研修
研修期間	5週間コース：2026年2月20日～2026年3月29日

1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）

海外に興味があったというのと、学生のうちにできることに挑戦したいと思い、この留学に応募しました。手続きについては、期限がはやいものもあるので注意が必要でした。語学対策はTOIEGのために勉強していたくらいですが、もう少しやっていたらよかったと思いました。

2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）

日本の学校でやる英語の授業形式と全く異なり、外でのアクティビティやゲームを通して学ぶことが多かったです。特に楽しかったのは調理実習です。ニュージーランドのお菓子をクラスの子たちと一緒に作って食べ、ニュージーランドの文化についても知ることができました。学校は9時から15時で座学もちろんありましたが、楽しく学べたので授業はあっという間に終わりました。留学生同士はもちろん、アクティビティや授業後に行われるイングリッシュクラブなどで、現地学生と交流することもできます。

ツアーは学校を通してワイトモ洞窟やキーウィハウスに行きました。そのほかにも休日はショッピングモールやガーデン、動物園などに行きました。金曜は授業が午前中だけで午後はフリーなので、金曜の午後から土曜と日曜にかけてオークランド旅行に行ったりもしました。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	ホストマザーと、最初の2週間だけ日本人の女の子と一緒に生活しました。きれいな部屋を用意してくれて、お出かけにも連れて行ってくれました。洗濯は週に2回でした（ニュージーランドでは多分多いほうだと思います）。ホストマザーの知り合いを紹介してくれて、様々な人と話す機会を与えてくれました。
食事、健康管理	朝ごはんとお昼ごはんは家にあるものを自由に使ってよかったです。朝はトーストとオレンジジュース、お昼はサンドイッチを自分で作って持っていくことが多かったです。お菓子やフルーツも持たせてくれました。夜ごはんはホストマザーと一緒に作って、食べ、片付けも一緒にするのが毎日の日課でした。5週間、全くお米を食べる機会がありませんでした。お米がでるかどうかは家庭によりま

	<p>す。</p> <p>健康については、日光がとても強いので熱中症ぎみになりそうだったので、帽子と日焼け止めは必須です。日中と夜の寒暖差も激しいため、涼しい服と暖かい服の両方が必要です。</p>
持参してよかったもの (理由)	<ul style="list-style-type: none"> ・帽子・日焼け止め・サングラス(日差しが強いため) ・厚めの上着(寒暖差が激しいため) ・クレジットカード
危機管理 (危険な目に遭わないために気をつけていたこと、少しでも危険を感じたことなど)	<p>危険に思うようなことは特にありませんでした。</p> <p>夜は一人で出歩かないことと、貴重品は持って移動するように気をつけました。ショッピングモールの近くにホームレスの人が多くいる道がありましたが、他のクラスの子がそこで暴言を吐かれたりと怖い思いをしたと聞いたので、その道は特に警戒するようにしていました。</p>

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	216,360 円	
海外旅行保険	14,954 円	
研修費用	518,786 円 57,340 円	入学登録料, 授業料, ホームステイ, 空港送迎料, 大学学生保険等を含む。 ワイトモツアー代
滞在費	19,600 円	帰りの韓国での1泊
食費	円	
交通費	7,000 円	通学バス
その他（小遣い, 通信費など）	約 100,000 円	観光, お土産, 外食など
合計		約 934,040 円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

(写真を添付して、その様子の説明をご記入ください *ここに貼り付けなくても OK です)



クラスでは調理実習を行いました。これは Lolly cake というものを作っているところです。英語で書かれたレシピを見て、楽しく学びつつお菓子作りをできたのがよかったです。このように座学ではなく、アクティビティをしながら英語を学ぶことが多く、日本と英語の勉強の仕方の違いを感じました。



学校終わりは、アイスクリーム屋さん、ショッピングモール、ハミルトンガーデンなどに行ったり…

これはおすすめのジェラート(左)とアイスクリーム(右)です。どちらのお店もとてもおいしく、フレーバーが沢山あって選ぶのも楽しいです。5週間の間に何回も行きました。



金曜日の午後からフリーなので、金・土・日を使ってオークランドへ遊びに行きました。一番左はオークランドからフェリーに乗って、Waiheke Island へ行き、フィッシュアンドチップスを食べた時の写真です。ビーチを見な

がら食べるフィッシュアンドチップスは格別でした。そのほかの休日もラグビーを見に行ったり、ロデオに行ったりと楽しく過ごしました。

★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

留学に行ける時は限られていると思うので、ぜひ大学生で時間のあるうちに行くことをおすすめします！ニュージーランドでしかできない体験や、違う国の友達もできるのでとても楽しいです。3週間コースか5週間コースどちらにするか悩むならぜひ5週間にしてください。5週間のほうがニュージーランドを満喫できます。5週間でさえ足りなかったと感じるほどです。とにかく、いつもと違う言語で知らない土地に住むという経験は今後の糧になるので、ぜひ参加してみてください！！

ワイカト大学春期語学研修 2026 報告書

報告日：2026 年 3 月 31 日

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学春期英語研修
研修期間	3 週間コース：2026 年 2 月 20 日～2026 年 3 月 15 日

1. 留学前の準備について（応募動機，申込み手続き，語学対策など）
海外に行ったことがなく、留学に興味があったから。
2. 研修内容や大学（授業内容，形態，学生同士の交流，アクティビティ等）
座学による文法等の学習ではなく、アクティビティ中心に日常的な会話表現が学べた。
グループワークが多く、現地の学生と話すアクティビティが何度もあった。
3. 生活（住環境，食生活や健康管理，危機管理，持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	ホストファミリーはファーストフードを主としたディナーを作って下さり、ニュージーランドの歴史や文化をよく教えて下さった。NZ のゲームを説明して下さって、実際によく相手をして下さった。 ホストマザーは私の健康や安全にとっても気を遣ってくださり、朝昼食は野菜を主としたご飯を作って下さった。中国出身の方で、自分が中国の建物や服等の文化に興味があると言うと、写真集や歴史の本を使って多くのことを教えて下さった。帰国の際に大切な本の一つを私に下さった。
食事，健康管理	ホストマザーのおかげで体調を崩すことなく過ごすことができた。お菓子やジュースを買ってくると、たまに注意されるくらい健康に気を遣って下さっていた。ホストファミリーのディナーでタンパク質を主に摂取できていた。総合的にとてもバランスが良かった。
持参してよかったもの （理由）	スキンケア NZ で同じスキンケアを買おうとすると、日本価格の倍くらいの値段でしか手に入れられなかったから。
危機管理 （危険な目に遭わないために気をつけていたこと，少しでも危険を感じたことなど）	夜は街を出歩かない。 単なる散歩にはバッグを持っていかない。

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	210000 円	
海外旅行保険	10000 円	
研修費用	570000 円 0 円	入学登録料, 授業料, ホームステイ, 空港送迎料, 大学学生保険等を含む。
滞在費	0 円	ホームステイ
食費	20000 円	外食
交通費	10000 円	市内の移動
その他（小遣い, 通信費など）	100000 円	観光
合計		920000 円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

（写真を添付して、その様子の説明をご記入ください *ここに貼り付けなくても OK です）

- ・ホストファミリーとゲームを毎週していたこと。
- ・ホストマザーへのインタビュー（課題）
- ・クライストチャーチの観光

★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

この上なく新鮮で楽しい経験ができるので、是非とも色々なところを訪れて、多くの人と話して関係を持つべき。

ワイカト大学春期語学研修 2026 報告書

報告日：2026 年 3 月 20 日

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学春期英語研修
研修期間	5 週間コース：2026 年 2 月 20 日～2026 年 3 月 15 日

1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）
 海外の文化に興味があり、大学生の時間のあるうちに一度はホームステイを経験してみたいと考えたため、このプログラムに参加しました。申し込みや手続きはやることが多く、頻繁にメールを確認しないといけなかったため大変でした。語学対策は特に行っていませんでしたが、日常生活で使いそうなフレーズを少しだけ確認していきました。
2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）
 授業では教科書に沿った学習だけでなく、ペアでお題に沿った会話をしたり、英語を使って簡単な新聞を使ったり、図書館で簡単な英語の本を読んで要約をするというようなことを行いました。また木曜日の午後にはみんなで校庭に出てフリスビーやサッカーなどを行いました。宿題は週に 1.2 回ほどしか出ませんでした。クラスには日本人しかいませんでした。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	私のホストファミリーは夫婦と犬一匹の 3 人家族でした。夫婦はとてもやさしく、私が理解しやすいようにゆっくり話しかけてくれました。また理解できないときは言葉をを変えて私が理解できるまで辛抱強く話してくれました。また、予定の空いている日はいろんなところに連れて行ってくれました。 またホストファミリーではないですが、近所に住んでいる同世代の女の子がいろいろ助けてくれました。登校初日には学校までの道やバスの乗り方を教えてくれたり、休日にはプールに誘ってくれたりしました。
食事、健康管理	食事は毎食ホストマザーが用意してくれました。ホストファミリーが南アフリカ出身であったため、夜ごはんには南アフリカの伝統的な料理が出ることもありました。どの料理もとてもおいしかったです。
持参してよかったもの（理由）	ティッシュ：ホームステイ先のおうちにはペーパーナプキンはおいてありましたがティッシュはおいてありませんでした。またスーパーなどでも売っているのも見つけることができませんでした。そのためいくつか持って行くといいと思います。 暖かい服：昼と夜は暖かかったですが、朝がとても冷え込むので一枚は冬用の服を持っていてもいいのではないかと思います。
危機管理 （危険な目に遭わないために気をつけていたこと、少しでも危険を感じたことなど）	私がニュージーランドで過ごしている間は特に危険な目に合うことはありませんでした。対策としてはスリに合わないよう財布に紐をつけて鞆に結びつけていました。

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	208,860 円	
海外旅行保険	8,370 円	
研修費用	444,056 円 0 円	入学登録料，授業料，ホームステイ，空港送迎料，大学学生保険等を含む。
滞在費	0 円	ホームステイ
食費	6,319 円	外食代
交通費	3874 円	バス代
その他（小遣い，通信費など）	5,340 円	通信費
合計		676,819 円円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

（写真を添付して，その様子の説明をご記入ください*ここに貼り付けなくても OK です）

ホストファミリーの家には犬といつも遊んでいました。とてもフレンドリーで私が学校から帰ってくると走って出迎えに来てくれるのがとてもうれしかったです。

ホストファミリーが寿司レストランやタイ料理、アイスクリーム屋さんなどのいろんな飲食店に連れて行ってくれました。どの料理もおいしかったです。寿司は日本のものとは少し違いましたがおいしかったです。



学校の帰りや休日には友達とショッピングモールに行ったりアイスクリームを食べに行きました。



★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

私は昔から英語の成績があまり良くなく、今でも苦手ですが困ることなく3週間過ごすことができました。そのため英語力に自信がなくても、少しでもこの研修に興味を持った人はいい経験になると思うのでぜひ参加してみてください。